

テーマ：教会に中高生がつながり続けるために～ユースの集いについて～

事例発表 日本フリーメソジスト神戸ひよどり台教会 駒井ひとみ

2013年11月15日ユースの集い開始

活動日 毎月1回

- ・日時は、テスト期間などがあるので中高生の予定に合わせて決める
- ・時間は、部活があるので夕方6時半スタート

対象 部活などで教会に集えなくなったお友達（幼児 小学生も参加している）

奉仕者 牧師先生たち CS教師 参加者のお母さん 他

活動内容 プログラム

- | | |
|---------------|--------------------|
| ①祈り | ⑥聖書のお話し 牧師 宣教師 伝道師 |
| ②みんなで夕食（持ち寄り） | ⑦分級（小学生・中高生・大人と幼児） |
| ③賛美 | ⑧最後に集まり分かち合い |
| ④ゲーム | ⑨おやつ ティータイム |
| ⑤賛美 | 解散 |

ユースの集いを始めた目的と動機

同世代のクリスチャンの仲間を与えて下さいと祈りはじめ、教団教派の違う近隣のクリスチヤン姉妹二人と出会う。三人共に教会学校の教師だった。

一人の姉妹の家で家庭集会が始まり、もう一人の姉妹の家では子供の為の祈り会が始まる。わたし達が大変恵まれたので、子供たちにも近隣で主にあるお交わりを持たせてあげたいという思いが与えられた。その頃中学生になった子どもたちが部活の為教会に行けなくなっていたので、それを補うこともできればと、我が家でのユースの集いが始まった。

気をつけないといけないこと

- ・自分の思いではなく、祈って神のみ心を求める。
- ・いろいろなタイプの子どもがいるので平等に対応する。
- ・なるべく奉仕者に負担が掛りすぎないよう分担して賜物をいかして頂く。

（ローマ12: 4～5）

- ・何かを成し遂げる（成果主義）ではなく、愛し合い、支え合い、協力することに重点を置く。

（ヨハネ13:34～35）

ユースの集いをして良かったこと

- ・部活などで教会を離れた子どもたちが、ユースの集いを通して教会に戻ってきててくれた。
- ・先生や仲間と夕食を共にすることで、より関係が深まり、信仰面でも成長している。
- ・教会に行けない、行く機会がない、敷居が高いというママや子供たちにも、福音を伝える機会になっている。
- ・教団教派を超えて協力し合うことによってできたことだと思う。神様がそれを祝福して下さった。（一つの教会だけでは、同世代の仲間の人数は少ないが、複数の教会が集まる事によって、クリスチヤン仲間が広がり、相乗効果がある）
- ・集会から教会に導かれ、中学生、また夫の母が洗礼に導かれた。

アドバイス

お腹を満たす食べ物、心許せる仲間、安心できる居場所、そして主のみことばが語られる場があるなら、中高生はワクワクして集まってくれるのではないか。